

北海道福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

合同会社 m o c a l

②運営者(指定管理者)に係る情報

名称: 株式会社 ジョブロジック

代表者氏名: 代表取締役 原田 徳

所在地: 〒006-0802 札幌市手稲区新発寒2条3丁目1-5

TEL 011-215-4401

③事業所の基本調査内容

別紙「基本調査票」のとおり

④総評

◇特に評価の高い点

「電子媒体活用で利用者情報発信と職員情報共有」

事業所外にホームページによる情報発信として、事業所紹介から募集中の仕事、支援内容や流れを写真や図表、漫画描写の就職支援ストーリー等を活用して働くイメージが膨らみやすく理解しやすい構成を検討して積極的な情報発信に努めている。

全職員へ携帯電話を支給してコミュニケーションアプリを利用した管理者等への速やかな情報発信と記録の仕組みから職員の情報共有を的確に行うことへの取組が評価できる。

「施設外就労により、就労への自信や希望を見出すことができる環境」

利用者が望む就労への意向を聴き取り、利用者と話し合い個別支援計画を策定し、毎月1回の面談や日常で把握した利用者の意向や状況の変化には、担当者が管理者などと協議し職員間で情報共有し対応している。利用者が「やりたい」と思う就労形態を目標設定し、個々の障害、病気、心身状況などを考慮しステップアップできるように支援している。就労にあたっては個々のペースや得意とする作業内容、担当を考慮し「やりがい」を感じながら就労できるように支援している。また就労先企業と定期的に協議し利用者の困りごとについて伝え対応している。

心身の変調時は、施設外就労から施設内就労に変え仕事内容や時間を変更したり、作業環境を調整するなど合理的配慮をして利用者が変化する状態においても、就労への意欲や就労が継続できるように支援している。また、法人4事業所の就労体験を通じ自分に合った就労形態を選択出来るシステムがある。利用者が就労に励んだ結果、就労先企業から一般就労として採用したい意向が出るなど高い評価を得ている。法人で就労トータルコーディネーターを配置し、施設外就労から一般就労への自信と意欲を持った利用者に対し、一般就労前から就労後まで一貫して支援している。

◇改善を求められる点

「事業所の置かれている状況に応じた中長期計画の策定」

法人全体としては、5ヵ年計画を策定しスケジュールや新事業の立ち上げ、就労トータルコーディネーター配置、人材育成強化期間の設定など具体的な事柄が掲げられている。しかし、事業所においてはその地域の実情や福祉ニーズ、対象利用者などの特性などの現状や将来推計などを分析し、今後の方向性の指標となる中長期の計画が立案されていない。今後は、法人全体の中期計画と連動させた上で、実行の裏付けとなる収支計画書の作成や見直し時期の設定などを行い、事業所独自の中期計画が策定されることが期待される。またその際には、職員や利用者などの参画により意見などが反映されることが期待される。

「利用者と組織のための苦情解決の仕組みの検討」

法人主導で「苦情処理規程」「相談・苦情対応に関する流れについて」「苦情処理フローチャート」等を作成し、苦情解決の仕組みの整備に取り組み、苦情解決にあたる窓口の設置等を利用者へ周知している。しかし、苦情解決の体制の周知は窓口のみならず利用者の立場に立った第三者委員の設置や申し出た利用者にも不利にならない配慮の上での公表への仕組みが等が未整備であるので再検討が望まれる。

「標準的な実施方法の統合的な文書化と定期的な見直しの仕組み」

事業所における標準的な実施方法として一定の水準や内容について部分的に定められているので、事業所の理念や権利擁護を基にして提供する組織支援のサービス全般にわたる統合に向けて、統一様式を用いたアセスメントから計画策定に向けた手順や配慮につながる標準的な実施方法のPDCAの視点を踏まえたさらなる確立が期待される。

また、次年度への標準的な実施方法の見直しの取組として、個別支援計画の年度状況の振り返りや、職員や利用者からの提案等の反映も考慮して新たな支援実施対応の導入事項を踏まえる事が可能になる仕組みを検討して、福祉サービス提供の質の向上につなげることが期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

⑥評価対象項目に対する評価結果及びコメント

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり